

洞爺湖温泉で第52回北海道手をつなぐ育成会全道大会開催

7月28日、29日の2日間に亘って、洞爺湖温泉で第52回北海道手をつなぐ育成会全道大会（主催北海道手をつなぐ育成会）が開かれ、全道各地から障害者の方や関係者など約1,000人の方が集まり、「障害者自立支援法」をはじめ障害者の皆さんが抱える問題について、論議を深めました。

当日は、洞爺湖町のフラワービーンズの合唱から開会式がスタート。その後洞爺湖温泉のホテルなどを会場にして、テーマごとに11の分科会が開かれました。



分科会で発表する参加者

2日目は、弁護士の高野範城氏の講演が行われ、最後に「課題解決のために」私たち会員が先頭に立っていきます」という大会決議を確認し終了しました。

ななかまどの会 タオルをお年寄りにプレゼント

7月31日、ななかまどの会（坂井千枝会長）のメンバーが、清水の幸楽園を訪れ、恒例になっているタオルの寄贈を行いました。

この訪問は、国際ソロプチミスト洞爺湖の時から続けられてきたものです。

当日は、坂井会長と越後さんが、同施設を訪れ、タオルやバスタオル約200本を、代表者にプレゼントしました。

施設とっても、タオルなどは利用頻度が高く、重宝されています。



タオルを寄贈する坂井会長(右)

子ども共和国開く 流し冷麦で夏満喫

洞爺地区の夏休みの子ども祭りとして続いている「とうや子ども共和国」が、今年も8月7日、洞爺総合支所前の駐車場で開催されました。



缶詰のみかんを狙う子供ら

人気の流し冷麦には、多くの子供らが集まり、口いっぱいにほおばっていました。

また「たこ焼きと豆大福をいっぱい食べたい」「メイクアップアーティストになりたい」など思い思いの願いを書いた短冊を飾る七夕飾りコンテストも行われ、しらかば会、6町内子ども会、香川子ども会が、表彰を受けました。

最後に横山実行委員長が「体に気をつけて、元気に始業式を迎えてください」と挨拶し、お祭りを終了しました。

洞爺協会病院跡に 噴水広場オープン



花束を受ける紅粉和子さん

8月3日洞爺湖温泉の洞爺協会病院跡に造られていた、噴水広場が完成し、関係者約50人が集りオープンを祝いました。

同広場は、まちづくり交付金事業の一環として平成18年度に着手。噴水、フジ棚、複合遊具、トイレ、駐車場などが整備され、そのほか花壇や中木約400本も植えられました。

当日は、あいにくの雨模様の中、オープンの式典が開かれ、噴水設置に対して寄付をいただいた札幌市在住の紅粉和子さんが始動スイッチを押し、水が湧き出ると、出席者から拍手が沸き起りました。